

ゆたかな労働と 生活の場をめざして

発行. 社会福祉法人ときわ会 〒187-0032 小平市小川町 2-1159 番地
URL <http://www.asayake.or.jp>

あさやけ
だより
No. 480

あさやけ作業所	小平市小川町 2-1159 番地	TEL 042-345-4575
あさやけ第二作業所	小平市小川町 2-1159 番地	TEL 042-345-1564
サングリーン	小平市小川町 1-943 番地	TEL 042-345-1585
あさやけ鷹の台作業所	小平市小川町 1-411 番地	TEL 042-346-2167
共同ホームつくしんぼ	小平市小川町 1-944-30 番地	TEL 042-342-7550
共同ホームこげら	小平市上水南町 2-21-17 番地	TEL 042-325-8716
共同ホームサンライズ	小平市小川東町 5-2-11 番地	TEL 042-346-0472
地域生活支援センターあさやけ	小平市小川東町 4-2-1 番地	TEL 042-345-1741
	小平元気村おがわ東 1 階	
共同ホーム一歩	小平市花小金井 7-2-24 番地	TEL 042-349-0305
あさやけ風の作業所	小平市中島町 3-8 番地	TEL 042-349-2366
共同ホームはやぶさ	小平市小川町 1-497-13 番地	TEL 042-313-6269
共同ホームさらさ	小平市小川東町 5-2-12-1 番地	TEL 042-313-2217



一緒に暮らす

共同ホームはやぶさ

仲間紹介

ひとりひとりが太陽

マイペースでがんばります

原 太さん

(あさやけ鷹の台作業所)



原さんは鷹の台作業所に来て三年目、下請け班に所属しています。その前は週三日農園で農作業をしていました。鷹の台作業所に来た当初は、ほとんど喋らない寡黙な印象がありました。三年経った今では、作業所にも慣れ、その穏やかな人柄からメンバーには、「原さん」「原さん」と慕われています。下請け作業中やり方を間違えメンバーから教えてもらった時には、「教えてくれてどうもありがとうございました」と丁寧にお礼を言う真面目な原さんです。DMの封入、封緘、丁合、ラベル貼り作業では、ゆっくりですが、原さんのペースでしっかり仕事ができています。

アパートで一人暮らしをしている原さんは、毎日十分程歩いて作業所に来ています。前に行った施設の行事で、旅行、一日レクなどの外出に参加す

ることもあります。そんな時は必ず作業所のメンバー用と職員用と二つお土産を買ってきてくれる律儀な原さんです。外出で作業所をお休みする時に職員から、「原さん、俺もそこに行くから何時に集合すればいい？」と冗談を言うのと、「何言ってるんですか。来ちゃダメですよ」と笑いながら返す原さんは、そんなやりとりを楽しんでいるようです。

原さんに、鷹の台作業所で働くことの感想を書いてもらいました。

「毎日作業所に来てがんばっています。みなさん、やさしく、仕事も、たのしくできています。これからはがんばります。」

これからはマイペースでがんばって下さい。

障害のある人たちが あたりまえに働き えらべる暮らしを

障害福祉についての制度の拡充を求め、署名を続けて43年
～きょうされん第43次国会請願署名にご協力をおねがいします～

今年も第43次「きょうされん国会請願署名」が始まりました。あさやけでは、障害のある人たちが安心して働き、暮らせる地域づくりを目指し、この署名運動に長年取り組み、毎年この時期に、みなさまに国会請願署名と募金をお願いしています。

第43次「わたしたちの願い＝請願項目」

- 請願項目1：「旧優生保護法に基づく優生手術等を受けた者に対する一時金の支給等に関する法律」は、国の謝罪を明記し、支給額を見直すなど、被害者の人権回復にふさわしい法律としてください
- 請願項目2：障害年金を安心して生活できる水準まで引き上げるとともに、グループホームやヘルパー制度など希望する暮らしを支える制度を拡充してください。
- 請願項目3：「2021年度の報酬改定」では、必要な職員を確保して十分な支援ができるよう、基本報酬を引き上げてください。
- 請願項目4：障害のある人が65歳を超えても必要とする支援を自ら選んで利用できるよう、介護保険優先原則を廃止してください。
- 請願項目5：地域活動支援センターが安定して運営できるよう、国の責任で実態を調査し、制度を拡充してください。

あさやけでは、署名活動を通じて本当の自立支援に向けた施策拡充を求めています。また、世界水準である障害者権利条約に批准した国として恥じぬよう、障害のある方々が安心して自分らしく働き、暮らせる地域づくりをみなさんと一緒につくりあげたいと思います。ぜひ署名・募金にご協力いただけますようよろしくお願い申し上げます。尚、集められた署名は、責任を持って国会請願行動の際に全政党の国会議員に直接手渡しします。

あさやけ署名実行委員会 委員長 山岸 綾香

※ご協力いただける方は、あさやけの各事業所にご連絡ください。署名用紙を郵送させていただきます。



還暦を迎えた直也

高野 智子 (あさやけ作業所父母)

皆様に暖かい励ましの会を開いて頂き本当にありがたく思っています。

昭和34年5月7日午前6時武蔵野日赤病院で難産の末、然も仮死状態で誕生、私自身35歳と高齢出産で多少の危惧を抱きつつ授かったことは無上の幸せを感じておりました。当時の育児日記には克明に様子が綴られ、徐々に育児書との差を感じ、その上、斜頸、外反足と異常がみつき、理学療法士の手当を受けつつ、日赤小児科医長を尋ね、言葉のおくれにお茶の水大の先生を訪問したりしました。就学年齢に達し、都立小金井児童学園に入園、送迎を覚悟で自転車にも乗れぬ私が40歳で車の免許をとりました。幸い送迎バスがあり府中の中心まで送る日々、手をつなぐ親の会の発足にもかわり、小学校に入れぬ子の多いのを知り、当時の府中市長に養護学校誘致、職業訓練施設の設立などを請願、でも「大事な税金を見返りのないことに使えぬ、ドブに捨てるようなもの」ときびしいことを言われました。その時に就任された都知事美濃部亮吉さんを早速、有楽町駅近くの古い木造都庁舎を尋ね、同様の請願をしました。今思うとアボナして面会を求めた行動は赤面の至りでしたが必死でした。

その後、障害児全員就学が発表され、府中市にも養護学校が出来、職業訓練所も新設され、少しは役立ったかなと自負した次第。

直也もその後立川養護学校、中学部高等部と進み、40名程の卒業生のうち一般企業、都立福祉作業所に入れたのは半数、直也も中々進路がきまらぬなか、学校の水谷先生の進めで萩山にあった無認可のあさやけ作業所に実習に出たことが、現在のあさやけにたどりついたわけです。昭和53年4月武蔵野線府中本町駅から新小平駅迄元気に単独通勤が始まりました。小平養護学校卒業の方が大半で父母会も竹内さんを軸に発足、私も早速世話人の一人に参加させて頂きました。バザーは本当に楽しみで、前日のおでんの仕込み、当日は早朝からおにぎりづくり、テント内で焼きそばとお母さんたちも若かった。そして目標であった親なきあとの施設づくりのグループホームも一つ二つと出来、これらの運営そして実際に世話される人員、利用方法等まだ考慮の余地もあると思いますが、明るい未来です。

20周年、30周年と節目に神戸そして沖縄と子供達も元気に参加、父母会もそれにあわせて旅行もたのしめました。40年余りのあさやけの生活は、直也にとっても家族にとっても生き甲斐の場であり、私自身96歳を迎え、衰えを自覚しつつ、大勢の若い職員さんに支えられ、又ボランティアさんの協力、感謝の外言葉もなく、唯々ありがとうございますと平凡な言葉がめくりとなりました。

あさやけの 介助を受けて 40年
還暦の祝いに 胸つまる思いす

土曜日の夕餉の膳の 盃に
障害の子との 吟醸酒少々



成人と還暦を祝う会



1月16日、成人と還暦のお祝いの給食をみんなで食べたあと、会場の地域センターで廣野一希さんの成人と高野直也さんの還暦を祝う会を行いました。ときわ会の加藤理事長、廣野さんのお母さんと清瀬特別支援学校の出野先生、高野さんのお母さんと弟夫婦、あさやけ作業所の父母会のお母さん、ボランティアの中島さん、そして作業所の所員・職員が全員参加して二人の祝う会を行いました。ささやかですが心温まる会になりました。

祝成人！

お母さんからメッセージ

あさやけ作業所に入所して2年目、こあら班でふきんの直線縫いの指導を受け、毎日元気に



通いシッカリ？働いています！楽しいときの猛烈な垂直ジャンプやミシンの下糸が切れただけで「この世の終わり」のように叫んでしまうことなど、班の皆さんにご迷惑をかけながらも、可愛がっていただけて心から感謝しています。昨年からはショートステイにも挑戦し始め、遅まきながら自立への第一歩！いつかグループホームとの良いご縁に恵まれますように！そして、何より「一希の世界」が楽しく穏やかでありますようにと願っています。
廣野ゆかり

あさやけ作業所

廣野一希さん

還暦おめでとう！

職員からメッセージ

還暦を迎えた高野直也さん。おめでとうございます。

高野直也さんは1978年4月にあさやけ作業所に入ったので、すでに40年以上あさやけで過ごしていることとなります。その間、病気やけが等で作業所を数日休むことがありましたが、今は元気に通所しています。現在、うぐいす班に所属し箸の袋入れや、あさやけ便りの丁合等の仕事を頑張って行っています。また、仕事だけではなく午後の休憩にはお茶番番としてみんなの飲むお茶を運んでいます。

いつも笑顔の直也さん。これからも元気にあさやけに通いみんなを和ませてください。
小山 靖夫



あさやけ作業所

高野直也さん

新しい仲間が増えて…

共同ホームさらさ

今年の5月でさらさが開設して3年が経ちます。この3年間で、さらさでの新しい生活に少しずつでも慣れていこうとされている入居者さんの姿や、良い意味で徐々に気を遣わなくなってきたのかなと思うような入居者さんの姿を見てきて、開設当初のさらさより生活感が出ている気がして嬉しく思っている今日この頃です。

そんな中、さらさの定員が5人から6人になり入居者さんが1人増えることになりました。そして、昨年11月に2泊3日の体験入居を通して今年1月、あさやけ作業所に通っている海老澤理香さんがさらさの新しい仲間として入居されました！

海老澤さんご本人は入居が決まり生活がガラッと変わったと思います。その一つとして、さらさから作業所への行き帰りをご本人一人ですることです。始めは道を覚えてもらうためにさらさや作業所職員と一緒に行き帰りをしました。その後はご本人にバレないように職員が見守りをして現在は一人で行き帰りをしています。朝は、職員が「おはよう！」と手を振ると「おはよう！」と表情良く両手を振り返してくれます。笑顔がとても素敵で、場が和やかな雰囲気になります。夜には、今までは一人の入居者さんが手伝ってくれていた洗濯物たたみをその方がたたみやすいように海老澤さんが机の上にセットしてくださり共同作業でたたんでくれます。今後は入浴までの少し空いている時間に何か海老澤さんが楽しめることがあればいいなと職員間では話しています。

開設から3年間、1週間の宿泊数が増えることはありましたが、入居者さんが増えることは初めてだったため、環境の変化に他の入居者さんはどう反応するのかなど気になることはいくつかありました。しかし、実際、海老澤さんが入居されてからの生活が始まると、リビングで過ごすことが多い海老澤さんと同じ作業所の入居者さんは「えびちゃん何時に寝るのか？昨日は早かったよ」や、作業所のボーナス外出の話になると「何買うの？」と話しかけたりして一緒にリビングで過ごし、以前よりもリビングが賑やかになりました。また、毎日皆のコーヒーを淹れてくれる入居者さんも、職員が海老澤さんのコップを机に出し忘れていて「えびちゃんのコップ」と教えてくれたり、快く新しい仲間を出迎えてくれるような様子がありました。

入居されてまだ1ヵ月程しかたっていないので、これから嬉しい出来事やそうじゃない出来事もあるかと思いますが、その出来事に合わせて職員間で考えて生活していきたいなと思います。

最後に、入居希望を出したけれど入れなかった方々にとっても、今回の体験入居がこれからの生活の上で何かの糧になればとても嬉しいです。(相田みお)



20才の決意

私は、みんなと、友達とこれからも一緒に協力して頑張ります。

そしてこれからも、お仕事を頑張っていきたいと思います。

お母さんには、いつもありがとうございますと思っています。

また、映画と宝塚を見たり、ボーリングやカラオケ、そしてデイズニーシーにも行ってみたいです。

大人になって、イライラしないで笑顔をお忘れずに過ごしていきたいです。

これからも精進していきます。



お母さんからのお祝いの言葉

成人おめでとうございます。

小さい時はテレビを見ている時以外はずっと泣いていて、10年後、20年後、大人になってもきっと泣いているだけなんだろうな…とっていたことを思い出しています。

その有彩が、お化粧をして、宝塚歌劇を見に行ったり、ボーナスをいただいたら、2人のおばあちゃんにプレゼントを贈ったり、たまごやきを作ったりとたくさんの方ができるようになって、本当に信じられないほど成長してくれました。

それは2才で東京小児療育病院で訓練を始めてから今まで苦しいこと、やりたくないことがたくさんあったけど、有彩なりに頑張ったからなのだと思います。

そして20年間たくさんの方々を支えてくださったおかげだということも忘れないでね。

これから先、苦しいこと、楽しいこと、いろんなことがあると思うけど、いつも元気よく明るく全力で何事にも向きあって成長しつづけてほしい、そしていつまでも健康でたくさんの喜びがふりそいできますようにと願っています。

成人を迎えて



1/17、サングリーンで及川さんの成人を祝う会をしました。及川さんチョイスのメニュー（お好み焼き、焼きそば、アイスクリーム）が出て、大好きなピンク色の眼鏡ケースとバスケースが贈られました。

成人を迎えて何をしたいですかと聞いたら、お料理できるようになりたい。ハウステンボスに行きたい。クッキーやパウンドケーキを作りたい。他、たくさん出てきました。

及川さんはやる気に満ちていて、毎日元気に作業所に来ています。元気すぎる時もありますが、なかなかできない細かい作業も、失敗に全くめげずに少しずつ上達しています。さすがの眩い二十歳です。

サングリーン 田倉

あさやけ鷹の台作業所

森川有彩さん

サングリーン

及川舞華さん

障害者権利条約を地域のすみずみに

あたりまえに働き
えらべる暮らしを



きょうされん 第43次

国会請願署名・募金運動

全国キャンペーン



2019年12月~2020年4月

障害のある人びとを支える
制度づくりのための
署名・募金にご協力ください



栗谷 美子

竹下 貴子

近藤 美穂

わたしたちも応援しています

東京センター連絡先
所在地：〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
TEL: 03-5561-2221 FAX: 03-5561-2209 E-mail: info@kyosarein.org

廃品回収のお知らせ

1月の廃品回収の回収量は7,530kgでした。内訳は新聞5,250kg、雑誌・ダンボール2,280kgです。収益は89,410円でした。

次回は3月21日(土)が回収日です。

雨天の場合は中止とさせていただきます。